



Bridal jewelry

ブライダルジュエリー

【 Bridal jewelry 】

後藤 尚久

マベパールのブライダルジュエリー(上)はCADを使うようになってからの作品です。コンピュータ上で多くのシミュレーションを重ねながら作りました。ブライダルアイテムなので、あくまでも名脇役として髪や肌に映えるよう、身に付けた花嫁さんが美しく見えるよう、より繊細な仕上がりを目指しました。CADだと、どうしても直線的な表現になりがちなので女性らしいシェイプを意識しました。

キュービックの作品(右)は入社2、3年目のもので、製作は手作業でした。パズルのように地金を全部繋げてから、はじめて全体像がはっきりする。試行錯誤しながら苦勞して作ったものです。



【 素 材 】

上：マベパール、Pt950

下：キュービック・ジルコニア、K10WG



craftsman jewelry file.12
naohisa goto

Introduction of works



山梨ジュエリーミュージアム

山梨県甲府市丸の内1-6-1 山梨県防災新館1階
<http://www.pref.yamanashi.jp/yjm/>

開館時間：10:00~17:30(最終入館17:00)

休館日：火曜日(祝日の場合はその翌日)、年末年始、その他、臨時に開館・休館することがあります。

入館料：無料

駐車場：92台 山梨県防災新館地下有料駐車場(来館者は1時間無料)

craftsman jewelry

Vol.12

2017年12月発行

2017 December

山梨ジュエリーミュージアム発行

原型に表れる仕事に対する想い

今は主にデザイン画から原型を設計する仕事をしています。平面のデザイン画を立体的なデータにして3Dプリンターを使って形にします。昔でいう原型師のデジタル版ですね。以前はその仕事を銀やワックスでしましたが、今はCADを使っていて、道具が変わっただけでやっている事は変わりません。

この仕事は20年前の商品でも原型が取ってあるんです。それは会社の財産ですから。僕らの若い頃の先輩は、自分の作業の様子を見るなという人と見せてくれる人がいました。でも作ったものを後で見れば、どうやって作ったのかは分かってしまうんです。30年前の商品も原型を見れば結果から過程も、作品への想いまでもが見えてしまう。今見ても、この人はやっぱり上手いなあと思うものが、いっぱいあります。自分の昔の作品を見るとヘタクソだなあと、情熱はスゴいけど、今なら絶対こんな事はしないと、こだわりすぎて無駄な事してるなとか思う事はありますね。

耐久性と繊細さ、そして次への挑戦

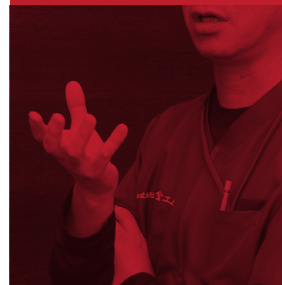
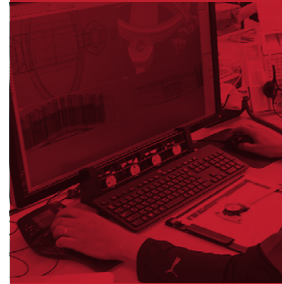
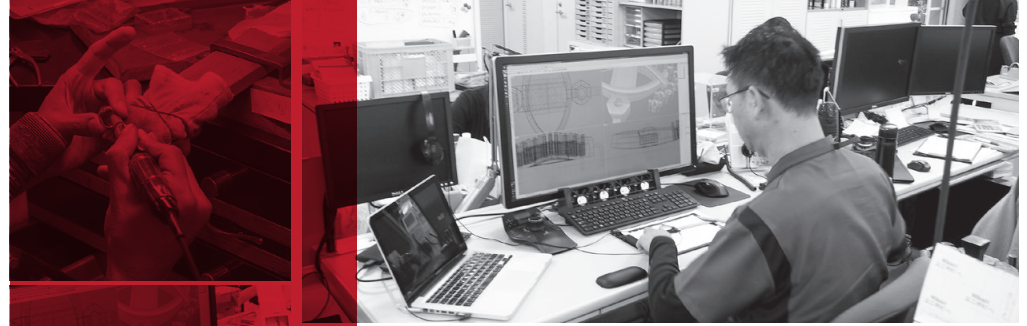
原型師は材料や機能面やコストも含めて具現化するうえで商品ベースに乗せなければいけない。

同じデザインでも原型を作る人が違えば全然違うものが出来る。リングは0.2mm違うだけで見た目はもちろん、肉感や断面の形状や身に付けた感じが変わります。十人十色。でもそれは正解が無いもの。

その中で僕が一番心掛けているのは耐久性と繊細さです。普段、普通に使っても壊れなくて、使いやすく、美しいもの。僕が手掛けたものが、お客様の手元に行って壊れたり、20年後の後輩に迷惑をかけないようにと常に考えています。でも、その時はよく出来たと思っても何年かするとダメだなと思う事はよくある。月並みですが職人は一生修業。自分の仕事に満足した瞬間に終わりですから。現在はCADでの作業が一般的ですが、男性がCADでデータを起こすとどうしても男性っぽくなってしまふので、無骨にならずに、いかに美しく繊細な曲線のラインを出すかをいつも意識しています。先輩に見た目はすごくオッサンだけどリングを作るとラインがもの凄く繊細な人がいたんです。驚きました。たぶんものスゴく意識していたんだと思います。

色々やって失敗もありますけど、耐久性と繊細さを追い求め、新しい材料の知識やツールには常に挑戦しています。

より美しく、繊細に。
人生に寄りそうジュエリーを創る。



仕事への意識を変えた結婚指輪

作っている商品のほとんどは女性向け。だから身に付けたら綺麗になって「あなたそれいいわね、どこの？」って褒めてもらえたら最高ですね。その人をより美しく見せる、それが理想です。

そういうふう意識が変わったのは23年前に自分の婚約指輪と結婚指輪を作った時。誰にも任せず全工程を自分で仕上げました。3人の子どもが生まれた時にも、それぞれ指輪やペンダントやピアスを妻のために作りました。今も出掛ける時には付けていますよ。子ども達も「これは私が生まれたときのだから私が貰う」なんて話してます。

自分で買うにしても貰うにしても、ジュエリーは人生の記念日や節目に贈るもの。その思い出と共にあるもの。だからこそ耐久性がなければならぬし、不変でなければならないと思います。

今後、仕事をする上で大切にしたいのは伝承。後輩に伝える事。肥やしになるのか、踏み台になるのか若い連中が高みに登るのを手伝えればイイかなと。でも登るのは自分自身なので覚悟してくれとも言ってます。自分も沢山の先輩達にそうしてもらって分かった事ですから。



Craftsman jewelry

vol.12

後藤 尚久 (ごとう なおひさ)



原型師・貴金属加工職人
全技連マスター
一級貴金属装身具製作技能士
職業訓練指導員
ものづくりマスター

株式会社 白金工房
甲府市川田町アリア202
Tel:055-220-1611